

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	1	・定員に対し広いとはいえないが、備品の配置を工夫してスペースを確保している。
	②	職員が適正に配置され、個々の発達段階に応じた適切な支援がされているか	6	1	0	・職員間で話し合い、個々に合う活動の提供をしている。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切にされているか	6	1	0	・バリアフリーでない箇所もある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	0	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	2	1	4	・今年度より保護者向け評価表を活用する。 ・今年度から実施し、業務改善につなげる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	5	・今年度より実施する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	2	・第三者評価の実施に向けて検討する。
	⑧	職員の資質の向上を図るため、研修の機会を確保しているか	7	0	0	・毎月の内部研修と職員の課題に応じた外部研修への参加。 ・内部、外部研修は報告し、職員へ周知している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	3	4	0	・アセスメントは実施しているが、職員個々のスキルアップが必要。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	4	・現在は標準化されたアセスメントツールは使用していない。 今後の検討課題。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	1	・職員間で話し合いの機会を定期的に持ち、活動の設定をしている。
	⑫	行事を含む活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	・行事については様々な社会体験ができるようにプログラムしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援しているか	6	1	0	・個々の発達段階やニーズに応じた支援は実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	7	0	0	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	・毎朝の業務確認の際実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7	0	0	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか	3	4	0	・現在の記録の取り方に改善が必要。 全職員で検証していく。 ・記録を実施し、職員間で確認している。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6	1	0	
関係機関や保護者との連携	⑳	相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間）、連絡調整（送迎時迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	0	・学校からの連絡文書、教員からの引き継ぎにより情報を共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	6	0	・必要に応じて家族との情報共有はしているが、主治医との連絡体制は家族を通じて行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	2	・就学前の情報等については、必要に応じて家族より聴き取りしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所へ移行する場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	0	・特別支援学校での移行支援会議や相談支援専門員を通じての情報共有は行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5	0	・支援ツール等についての理解を深めるためにセンターを訪問しての学習など。
	㉖	地域に暮らす障害のない児童との交流や社会体験ができる機会は提供されているか	0	3	4	・社会体験の機会は提供しているが、今後、障害のない児童との交流機会を検討する。
	㉗	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	4	・こども専門部会による情報交換会等の集まりには参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解しているか	7	0	0	・送迎時やモニタリングの機会を利用して情報共有し、状況や課題について共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	5	・ペアレントトレーニングの研修に参加するなどし、対応力の向上を目指す。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか	7	0	0	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	・主に送迎時に相談を受け、助言を行っている。
	㉒	保護者同士の交流が図られるような機会は提供されているか	0	3	4	・今後実施の検討をする。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
	③③	苦情受付体制が明確に示され、苦情に対して迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	
	③④	広報誌やホームページ等で定期的に活動の内容や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	
	③⑤	個人情報の取り扱いには配慮しているか	7	0	0	・書類は事務室キャビネットに保管。
	③⑥	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	・個々に応じ配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	0	3	4	
非常時の対応	③⑧	緊急時や災害時、感染症発生時の対応について、保護者への説明や周知をしているか	4	2	1	・利用児童にインフルエンザ等の発症があった際は周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難等の訓練を行っているか	3	1	3	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	・虐待防止の内部研修も毎年実施している。
	④⑪	どのような場合にやむをえず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか	7	0	0	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	3	・アレルギーに該当する児童の利用はない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3	1	・ヒヤリハット報告書による記録と職員間での情報共有はしている。